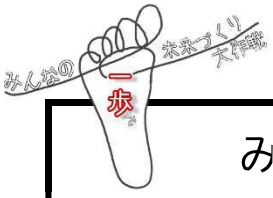
報道資料1

新潟県小千谷市

令和8年9月28日



みんなの一歩で、未来づくり大作戦を前進させる

「6つのミッション」に取り組みます

希望の未来を市民総参加でつくるために取り組んでいる「みんなの一歩で、未来づくり大作戦」に、さらに多くの方から参加いただくため、みんなで取り組む共通のテーマ「今月のミッション」を提案し、来年3月まで計6つのミッションに取り組みます。

このミッションに取り組むことで、自分たちでまちの未来を変えていくことができます。

1.「今月のミッション」について

市民や未来づくりアンバサダーの力を合わせて取り組んでいるまちづくりプロジェクト「みんなの一歩で、未来づくり大作戦」をさらに進めるため、誰でも気軽に取り組める共通のテーマ「今月のミッション」を毎月提案し、来年3月までに計6つのミッションに取り組みます。

2. 10月のミッション

市内のイベントに出かけてみよう！

行楽の秋、市内でも様々なイベントが開催されます。長く小千谷に住んでいても、まだ行ったことのないイベントや場所があると思います。ぜひ、市内のイベントに出かけて、小千谷の新しい魅力を見つけて、ご家族ご友人にも教えてあげてください。

多くの方がイベントに出かけると・・・　⇒　まちににぎわいが生まれる
小千谷の新たな魅力に気付く

このミッションに取り組むことが、まちに愛着や誇りを持つ人が増えたり、「小千谷に行ってみたい」と思う人が増えたりすることにつながります。

3. ミッションは毎月変わります

ミッションは月ごとに変わります。しかし、特別なことをする必要はありません。日頃の生活の中で、誰でも気軽に「やってみよう」と思えるような内容を毎月ご提案していきます。

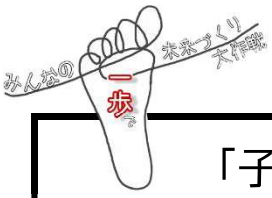
「今月のミッション、やってみたよ」「よし、このイベントに行ってみよう」とご家族、ご友人に声をかけ合いながら参加することで、まちににぎわいが生まれ、未来が大きく変わっていきます。

問合せ先	小千谷市企画政策課　担当／増川・池田　TEL:0258-83-3507

報道資料2

新潟県小千谷市

令和8年9月28日



「子育てするならダンゼン小千谷！」新たな支援策

妊婦情報事前登録制度「おぢやマタニティサポート119」を開始

破水や陣痛があって産科医療機関に向かう必要があるときに、医療機関に行く手段がないなどの妊娠時の交通手段にかかる不安を解消し、安心して出産してもらうため、妊婦情報事前登録制度「おぢやマタニティサポート119」を小千谷市消防本部と連携して実施します。

事前に妊娠や出産に関する情報を市に登録することで、緊急時の産科医療機関へのスムーズな搬送に繋げる制度です。

「子育てするならダンゼン小千谷！」を目指し、小千谷市独自の方法として、不安定になりがちな妊娠期の体調を配慮し、登録の手続きに窓口での手続きが不要なオンライン登録を可能としました。

1.対象者

・小千谷市に住所がある妊婦

・小千谷市で里帰り出産される妊婦

2.利用の流れ

(1)妊婦は、健康・子育て応援課にオンライン登録または登録届出書の提出により登録する。

(2)登録者は、次のような場合、出産予定の医療機関へ連絡して医師の指示を確認する。

・出産の兆候である「陣痛」や「破水」などが始まったとき

・腹部に痛みや出血があるとき　など

(3)医療機関に来るよう指示された場合で、利用できる交通手段がないときは、119番通報する。

3.受付及び運用開始日

10月1日(木)

問合せ先	小千谷市健康・子育て応援課こども若者家庭センター　担当／加藤・西方　TEL:0258-86-5140

おぢやマタニティサポート 119

（妊婦情報事前登録制度）

～妊婦さんの救急車利用について～

破水や陣痛があって病院に行かなければならないが、連れて行ってくれる人がいない…そんな不安を一人で抱えていませんか？小千谷市には、妊婦さんが安心して出産を迎えられるための妊婦情報事前登録制度「おぢやマタニティサポート 119」があります。

事前に名前や出産予定日、かかりつけ医の情報を登録しておくことで、緊急時に医療機関へスムーズに搬送することができるようにするための制度です。





対象者

- 小千谷市に住所がある妊婦さん
- 小千谷市で里帰り出産される妊婦さん

登録方法

右記の二次元コードから登録してください。

（オンラインで登録できない方は、届出書を健康・子育て応援課の窓口または市のホームページから入手してご記入の上、**下記へ提出**してください。）

※提出された届出の情報は、市から小千谷市消防本部に提供します。

オンラインでの登録は、こちら⇒

利用手順

①次のような場合、出産予定の医療機関に連絡し、医師や看護師の指示を聞いてください。

- 出産の兆候である「陣痛」や「破水」などが始まったとき
- 腹部に痛みや出血があるとき

②医療機関に来るよう指示された場合で、利用できる交通手段がないときは、「119 番」通報してください。

※腹部の激しい痛みや大量出血などの明らかな異常がある場合は、医師の指示を待たずに「119 番」通報してください。

※ 搬送先は登録された出産予定医療機関となりますが、妊婦さんの状態等により**搬送医療機関が変更になる場合**もあります。

※ 小千谷市外で救急要請をした場合、発信した場所から最も近い消防に繋がるため、登録した情報は活用されません。

※ 登録された個人情報は、緊急時のみ使用し、出産後に登録を削除します。

※ 登録内容に変更が生じた場合は、下記までご連絡ください。

【届出書の提出・変更、制度に関する問合せ】

小千谷市健康・子育て応援課こども若者家庭センター　☎0258－86－5140

【緊急時の救急搬送に関する問合せ】

小千谷市消防本部　☎0258－81－0119

小千谷市健康・こどもプラザ あすえ～る Health & Childcare Support Center

【裏面あり】

利用方法の流れ

①出産予定医療機関に電話

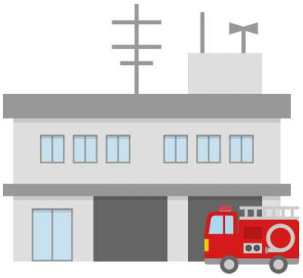


「お腹に痛みがあります」
「出血があります」等の症状を伝え、医師（助産師または看護師）の指示を確認

② 本人や家族が 119番通報

「妊婦で登録している〇〇です。
住所は小千谷市〇〇番地です。
救急車をお願いします。」

③出　動



小千谷市消防本部

④医療機関へ搬送



出産予定医療機関



- 届出情報を活用して出動し、出産予定医療機関に状況を連絡します。
- **妊婦さんの状況により、搬送医療機関が変更になる場合があります**。

よくある質問

その他のQ&Aは
こちらから確認できます⇒

Q 陣痛が始まったらすぐに救急車を呼んでいいですか？
A まずは、出産予定の産科医療機関に連絡して、医師の指示をご確認ください。

Q 登録は必ずしなければいけませんか？
A 登録は任意ですが、万が一の緊急時に備えるため、ぜひご登録ください。

Q 登録内容（予定日や病院）が変わったときはどうすればいいですか？
A 分かった時点で、健康・子育て応援課こども若者家庭センターまでご連絡ください。

Q 出産したあと、登録情報を削除する手続きは必要ですか？
A **手続きは不要**です。出産後、こちらで情報を削除します。

報道資料3

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

「小千谷に帰っておいでよ！」「空き家を有効活用しよう！」新たな支援策

県内最大級の補助額で移住者の空き家解体・建替を支援

年々増加する市内の空き家の解消とその敷地への住宅の建築を促し、市内への移住・定住を促進するため、「移住建替支援事業補助金」を創設します。空き家の解体または建替に要する経費の一部を、県内最大級の補助額で支援します。

1. 補助金創設の経緯

みんなの一歩で、未来づくり大作戦の「小千谷に帰っておいでよ！」「空き家を有効活用しよう！」の一環として、年々増加する市内にある空き家の老朽化や耐震性が不足する空き家の解体を進め、土地の利活用を図るとともに、その解体後の更地に若年層のU・Iターン者、子育て世帯、県内外からの転入（移住）者の建替を誘導するための施策として創設。

また、市街地を中心とした居住誘導区域の空き家とその空き地の利活用を促すことで、都市のにぎわい創出、コンパクトシティの推進、地域コミュニティの維持を図るもの。

（参考）
・市内の空き家数（町内会による居住状況目視確認によるもの）
483 戸 （令和4年度市内空家等実態調査／市防災安全課）
・利用目的のない空き家数
860 戸 （令和5年度住宅・土地統計調査／総務省）
・居住誘導区域内の空き家情報バンク登録数
34 戸 （令和8年9月24日現在）

2. 期待する効果

・空き家解体事業、建替事業の補助額はともに、県内最大級※の補助額となります。
「空き家の解体に最大50万円！解体・建替に最大500万円！」
※特定空家等に認定された建物を補助対象としている自治体を除く。
・市内の空き家所有者への情報発信と潜在的な空き家の掘り起こしを進め、移住・定住等につながるマッチングを期待する。

3.「移住建替支援事業補助金」の概要 ※別紙ちらし参照

▽申請受付開始日
10月5日（月）

▽申請場所（受付窓口）
市役所3階 商工振興課 U・I ターン支援室（城内2-7-5）

▽対象となる空き家の要件
・個人所有であること。
・売買または賃貸目的でないこと。

・空家等対策の推進に関する特別措置法第22条第3項の規定による命令または同条第10項の規定による措置に係る特定空き家等でないこと。
・抵当権その他第三者の権利が設定されていないこと。
・公共事業などの補償対象でないこと。
・小千谷市空き家情報バンクにおいて、次のいずれかに該当すること（空き家解体事業の場合）。
ア：登録後、おおむね1年が経過した空き家／イ：登録要件を満たさず、登録できなかった空き家

▽対象者（①②共通事項）
・市税などを滞納していない方
・暴力団、暴力団員と関係がない方

▽補助対象工事
①空き家解体事業（解体のみ）

対　象　者	①市内にある空き家の登記事項証明書に所有者として記録されている方 ②市内にある空き家の固定資産課税台帳に所有者として記録されている方、またはその共有者 ③上記の相続人
対 象 経 費	対象空き家の解体工事に要する費用
補 助 金 額 補 助 上 限 額	工事費用の 1/5 以内（千円未満切り捨て） 50万円　※市外事業者が行う場合は25万円

②空き家建替事業（解体と建替）

対　象　者	市内にある空き家を取得した方で、転入日または転入予定日を起算日として、転入前2年間で小千谷市に住所がなく、小千谷市に5年以上定住する意思がある方　※空き家の取得方法に制限はありません。		
対 象 経 費	対象空き家の解体工事と建替工事に要する費用		
補助基本金額 補 助 上 限 額	工事費用の 1/2 以内（千円未満切り捨て） 200万円		補助基本金額と該当する加算要件の合計金額を補助します。 （上限500万円）
加 算 要 件	居住誘導区域に建替を行う場合	100 万円	
	子育て世帯の場合	100 万円（こども1人当たり）※上限2人まで	

・着工前に申請が必要となります。工事などを行う前にご相談ください。
・補助金申請日の属する年度の3月末日までに工事を完了する必要があります。
・解体工事を行う日が属する年度と住宅取得日が属する年度が異なる場合は、事前相談のうえ、住宅取得年度に申請してください。
・市が実施する他の補助制度を利用の場合、補助金の額からその額を控除することがあります。
・予算額に達し次第、受付終了となります。

問合せ先	小千谷市商工振興課 U・I ターン支援室　担当／横山・近藤　TEL:0258-83-3556

小千谷市 令和8年度

移住建替支援事業補助金

申請受付開始
10月5日(月)

移住に伴う空き家の解体＋建替で補助金 最大500万円

移住建替支援事業って？

市内に空き家を持つ方、空き家を取得した移住・転入者を支援する「移住建替支援事業補助金」です。
市内の空き家の解消とその敷地への住宅の建築を促し、市内への移住及び定住を促進するため、空き家の解体、建替に要する経費の一部を補助します。

補助事業の概要・対象者

補助事業の種類	補助対象者	対象経費	基本補助金額
空き家解体事業 (解体のみ)	・市内にある空き家の登記事項証明書に所有者として記録されている方 ・市内にある空き家の固定資産課税台帳に所有者として記録されている方、またはその共有者 ・上記の相続人	補助対象空き家の解体工事に要する費用	補助対象経費の1/5以内 **上限50万円** ※市外事業者が施工する場合は上限25万円
空き家建替事業 (解体 ＋ 建替)	・本市への転入より1年以内、もしくは申請より1年以内に本市へ転入される方 ※本市に5年以上定住する意思を誓約できる方	補助対象空き家の解体工事と建替工事に要する費用	補助対象経費の1/2以内 **上限200万円**

空き家建替事業の加算条件

加算条件	加算額
居住誘導区域において建替を行う場合	**100万円**
子育て世帯の場合（18歳以下の子どもと同居／妊娠中の方）	子ども1人当たり **100万円**（最大2人まで）

※ 基本額 200万円 ＋ 加算額 最大300万円 ＝ 合計最大 500万円

手続きの流れ（必ず着工前にご申請ください）

- STEP1 【事前相談・見積もり】事前のご相談と市内事業者等から工事見積書を取得してください。
- STEP2 【交付申請】 ※必ず工事着手前に申請書を提出してください。(着工後は対象外)
- STEP3 【交付決定・着工】 市からの交付決定通知を受領後、工事に着手してください。
- STEP4 【完了・実績報告】 年度末（3月31日）または工事完了後1か月以内に実績報告書を提出してください。
- STEP5 【補助金の交付】 審査・完了確認後、指定口座へ補助金が振り込まれます。

お問合せ・申請窓口
小千谷市 商工振興課 U・Iターン支援室
TEL：0258-83-3556　FAX：0258-83-2789
Mail：ui-turn@city.ojiya.niigata.jp

補助金の詳細はこちらから➡

空き家情報バンクはこちらから➡

報道資料4

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

「空き家を有効活用しよう！」空き家プロジェクト新たな支援策

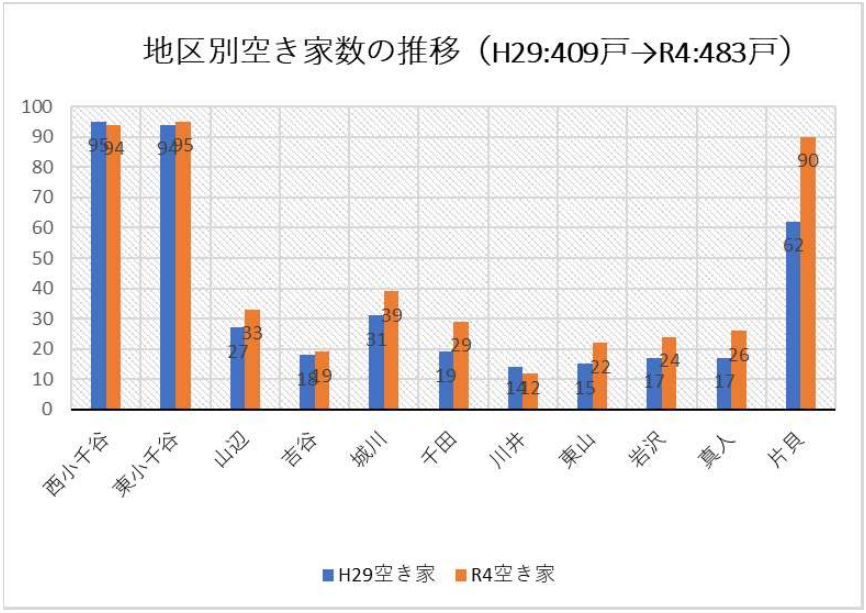
市民対象の「空き家セミナー」を開催

みんなの一歩で、未来づくり大作戦の「空き家を有効活用しよう！」の一環である空き家プロジェクトの新たな支援策として、市民のみなさんに、空き家対策について理解を深めていただく「空き家セミナー」を開催します。

1. 開催経緯

家屋を所有する市民の当事者意識を高め、元気なうちからの早期の予防対策を促す機会として本セミナーを企画。

【参考】市内の空き家の現状（小千谷市空家等実態調査）



※今年度、最新の調査を実施中。

2. 市民対象の「空き家セミナー」の概要

▽日時／11月1日（日）午前9時30分～午後2時（開場：午前9時）

▽会場／市民会館（講演会：4階大会議室、相談会：2階中会議室）（土川1-3-3）

▽参加無料

▽対象／市内にある空き家または空き家になると見込まれる住宅をお持ちの方

▽申込方法／申込フォームまたは防災安全課へ電話（TEL:0258-83-3515）で申込み

▽協力／新潟県弁護士会、新潟県司法書士会、新潟県行政書士会

【第1部】講演会

空き家をめぐる問題や相続の相談について、具体的な事例や最新の法制度を交えながらの講演

■時間／午前9時30分～11時10分

■講師／近藤千鶴さん（柏崎しおかぜ法律事務所　弁護士）

■その他／司法書士会、行政書士会による空き家に関する情報提供も行います。

■申込不要

【第2部】空き家無料相談会

空き家や相続などに関するお悩みについて各分野の専門家に無料で相談できる個別相談会

■日時・内容（1組あたり30分）

相談時間	相談内容	相談員	定員
①11:30　②12:10 ③12:50　④13:30	相続、成年後見、相隣関係、空き家に関する法律問題全般	弁護士	各時間各内容につき1組
	土地・建物の登記、相続、成年後見などの手続き	司法書士	
	空き家の所有者・相続人の確認、権利義務関係書類の作成	行政書士	
①10:00　②10:40 ③11:20　④12:00 ⑤12:40　⑥13:20	空き家情報バンクの登録手続き	商工振興課	各時間につき1組

■事前予約制（先着順）　※予約枠に空きがある場合は、当日も受け付けます。

問合せ先	小千谷市防災安全課防災安全係　担当／小林・目崎　TEL:0258-83-3515

報道資料5

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

市民生活課の窓口受付時間を短縮します

市民生活課の窓口受付時間短縮を試行します。あわせて、コンビニ発行交付手数料の引き下げ及びマイナンバーカードに関する手続きの予約制を開始します。

1.窓口受付時間短縮の試行期間

令和9年1月4日(月)～6月30日(水) ※本格実施:令和9年7月1日(木)

▽変更後の時間

(変更前)午前8時30分～午後5時15分 ➡ **(変更後)午前9時～午後4時30分**

▽対象事務

証明書発行、住所異動、マイナンバーカードに関する手続き、健康保険・年金、おくやみ手続き、パスポート

※戸籍届出、各種相談、電話対応は今までどおり午前8時30分～午後5時15分

▽目的

市民のマイナンバーカード保有率が 85%を超え、コンビニ交付率も上昇する中、多様なライフスタイルに対応するコンビニ交付をさらに推進するとともに、窓口の混雑緩和を目指します。

2. 窓口受付時間の短縮に伴い、下記の窓口サービスを改善します

①オンラインで申請できる手続きが増えます

新たにオンライン申請が可能な手続き	
各種証明書の発行	・戸籍謄(抄)本(改製原戸籍、除籍を含む) ・戸籍の附票の写し ・身分証明書 ・独身証明書
国民健康保険	・国保脱退の届出 ・資格確認書などの再発行申請

②各種証明書のコンビニ発行交付手数料を引き下げます 一律150円引き下げ

▽変更日

12月26日(土)

▽変更後の発行交付手数料

証明書の種類	変更前	変更後
戸籍謄(抄)本	450円	300円
住民票の写し 印鑑登録証明書 戸籍の附票の写し 所得課税証明書	300円	150円

③マイナンバーカードに関する全ての手続きの予約制を開始します

▽予約可能日

令和9年1月4日（月）以降の開庁日

▽予約受付開始日

10月4日（日）から市ホームページ内の専用フォームから予約

△専用フォーム

問合せ先	小千谷市市民生活課　担当／渡辺・石上　TEL:0258-83-3509

報道資料6

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

～山本山魅力再生に挑戦～

「山本山高原ひまわり畑　ブナ植樹祭」を開催

令和5年度から動き始めた5つの「重点政策プロジェクト」の一つとして、四季折々の花や景観で来訪者を魅了し、増加した来訪者が市内を循環することを基本コンセプトに、山本山魅力再生に取り組み始めました。「天空のひまわり畑 in 山本山高原」として、今年は約3ヘクタールにひまわりが咲き誇り、市内外から多くのみなさんが訪れる場所となりました。

魅力再生により市民誰もが誇れる場所となりつつある「山本山」の新たな魅力向上を図るため地元のみなさんと一緒に植樹祭を開催します。

1.開催の経過

令和5年5月24日	重点政策プロジェクトに取り組むプロジェクト・チーム設置 山本山魅力再生に取り組む
9月	ひまわり畑に観光ブースを設置し実証実験開始
令和6年8月	「天空のひまわり畑 in 山本山」を開催 周遊バスの運行や飲食店クーポン付チラシの配布を行う
令和7年8月	「天空のひまわり畑 in 山本山」を開催
10月31日	山本山高原シンボルツリー　ブナを1本植樹
令和8年8月	「天空のひまわり畑 in 山本山」を開催
10月	ブナ　1本植樹
令和9年以降	合計6本のブナの植樹を予定





2.ブナの植樹及び植樹祭開催の目的

ブナは山本山高原に昔から自生する広葉樹で、景観との調和や小千谷らしさを体現する樹木です。

令和8年度中に策定予定の「山本山の魅力再生に向けた基本構想」施策提案②市民の憩いの場として新たな魅力向上策の検討においても、ブナ植樹エリアの活用検討を掲げており、さらなる植樹を行う予定です。

当日は地域の青少年が植樹に携わり、郷土への誇りと愛着（シビックプライド）を醸成し地域の絆を深める機会とします。ひまわり畑に留まらない魅力を高め、県内外の訪問者に愛されるにぎわい拠点として活用します。

3.「山本山高原ひまわり畑　ブナ植樹祭」開催概要

▽日時：10月5日（月）

〇第1部【山本山魅力講座】

時間：午後1時～

会場：総合支援学校（塩殿甲2144）

〇第2部【ブナ植樹セレモニー】

時間：午後1時45分～

会場：山本山高原ひまわり畑特設会場（臨時駐車場近辺）

▽参加者

市立総合支援学校中等部・高等部生徒、地元町内会長ほか

【小千谷市立総合支援学校について】

植樹地の近隣に位置する地元の学校です。総合支援学校の生徒が地域行事の主役として活躍することで、誰もが地域の一員として輝ける社会の実現を願うとともに、在学中に植えた木の成長を見守り続けられることも、今回の参加につながっています。

▽その他

・第1部終了後、第2部会場へ移動します。

・第2部会場（植樹）の駐車は、臨時駐車場をご利用ください。

・取材による写真撮影は、撮影条件がありますので、現地でご確認をお願いします。

問合せ先	小千谷市農林課　担当／渡辺・大平　TEL:0258-83-3510

報道資料7

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

中越大震災関連行事を開催

当市では、平成26年より、中越大震災の経験と教訓を忘れることなく防災意識を高め、安全・安心に対する誓いを新たにする日として、10月23日を「中越大震災の日」と条例で定めています。

中越大震災から22年を迎える今年は、以下の関連行事を開催します。

1. 10.23「中越大震災の日」追悼のつどいを開催

■内容／復興の灯りをイメージしたキャンドルイルミネーションや献花、黙祷を行います。

■期日／10月23日（金）

■会場／スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」 ソコラテ広場（藤生丙299-1）

2.「おぢや防災塾　～Remember 10.23～」防災教育講演会を開催

■内容／震災の経験と教訓を次世代に継承するため、市内の中学3年生を対象に防災教育講演会を開催します。

■期日／10月23日（金）

■会場／市民会館大ホール（土川1-3-3）

3.「中越大震災の日」給食を実施

■内容／非常食を使った給食を通じて、中越大震災を経験していない児童生徒の防災害意識を高めます。

■期日／10月23日（金）

■会場／市立小中学校・総合支援学校

4.「オヂヤホタル 2026～OJIYA HOTARU illumination～」を開催

■期日／10月17日（土）まで開催中（6月報道資料参照）

■会場／山本山高原山頂芝生広場

問合せ先	個票の各報道資料参照

報道資料7-1

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

10.23「中越大震災の日」追悼のつどいを開催

多くの尊い人命を奪い、当市に未曾有の被害をもたらした中越大震災から10月23日で22年となります。当市では、震災から10年の節目に、10月23日を「中越大震災の日」として、震災の経験と教訓を忘れることなく防災意識を高め、安全、安心に対する誓いを新たにする日として条例で定めました。

今年から会場をソコラテに変え、震災の犠牲者を悼むとともに、防災意識を高める契機とするため、「希望の灯り」点灯と献花、黙とう、復興の灯りをイメージしたキャンドルイルミネーションを行います。

1.日時

10月23日（金） 午後5時～6時10分

2.会場

スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」 ソコラテ広場（藤生丙299-1）

3.内容

午後5時	キャンドルイルミネーション点灯、音楽演奏
午後5時25分	希望の灯り点灯
午後5時40分	献花
午後5時56分	黙とう

4.主催

10.23「中越大震災の日」追悼のつどい実行委員会（事務局：そなえ館）、小千谷市

問合せ先	10.23「中越大震災の日」追悼のつどい実行委員会　担当／堀澤・日岡　TEL:0258-94-5460

報道資料7-2

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

「おぢや防災塾～Remember 10.23～」防災教育講演会を開催

多くの尊い人命を奪い、当市に未曾有の被害をもたらした中越大震災から10月23日（金）で22年となります。震災の経験と教訓を次世代に継承するため、防災教育講演会を開催します。

1.日時

10月23日（金） 午後1時35分～3時

2.会場

市民会館 大ホール（土川1-3-3）

3.内容

◆スライドショー上映

中越大震災から15年目の節目に作成され、震災当時の様子、被災された方の経験をインタビューし編集したものです。

◆講演

演題：「中学生のためのスマート防災 ～命を守るために～」

講師：防災システム研究所所長 山村 武彦 氏

4.対象者

市内の中学3年生

5.主催

小千谷市・小千谷市教育委員会

問合せ先	小千谷市教育委員会教育・保育課学校教育係 担当／野上・大矢 TEL:0258-83-3519

報道資料7-3

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

「中越大震災の日」給食を実施

震災を経験していない児童生徒の防災意識と生きる力の向上を目指し、学校給食を通した防災体験活動として、市内の栄養教諭等が中心となり、小千谷市立小学校、中学校及び総合支援学校の児童・生徒に対して「中越大震災の日」給食を実施します。

1.目的

・防災訓練等で学んだ災害時の環境、備蓄、食事等の状況を、学校給食を通じて体験し、学びを深める。

・実際に非常食を経験することで、災害時での食事の対応を学ぶ。

・給食に非常食を加えることで、普段の食事の大切さを学ぶ。

2.対象

市立小学校、中学校、総合支援学校の児童・生徒及び教職員

3.日時

10月23日（金） 各校の給食時間 （※一部学校では21日・22日に実施予定）

4. 内容

防災給食（市内全学校統一献立）

〇パックごはん

〇乾物無敵ふりかけ

〇ローリングストックサラダ

〇パッククッキング de ツナじゃが

〇牛乳

≪説明≫震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡易な調理作業により提供できる献立です。

5. その他

市長が給食を試食します。

日時／10月23日（金）午後0時～

会場／東山小学校（小栗山2357）

問合せ先	小千谷市教育委員会教育・保育課学校教育係 担当／大矢・小田原 TEL：0258-83-3519

報道資料8

新潟県小千谷市

令和8年9月28日

起業家育成支援事業「BALLOON」

Ojiya Meetup Day vol.4を開催

市内で起業または新規事業に取り組みたい方に向けて、ビジネスの基礎からリーダーシップ、ネットワーキングまで、成功するために必要なスキルと機会を提供する起業家育成支援事業「BALLOON」を実施しています。「BALLOON」の取り組みの一つである「ビジネスコンテスト in OJIYA」で決定した「チャレンジ支援事業補助金」の採択者が登壇し、クロストークを行うイベントを開催します。

1.日時

10月22日（木） 午後6時30分～9時

2.会場

ひと・まち・文化共創拠点 ホントカ。演アンカー（本町1-13-35）

3.内容

▽令和7年度のチャレンジ支援事業補助金採択者5名が登壇する2つのクロストーク
小千谷で生きてきた視点と、東京・小千谷の2拠点で活動する視点から、小千谷で挑戦することの可能性を語り合います。

▽クロストーク終了後：交流会

▽令和8年度ビジネスコンテスト情報を先行解禁予定

4.対象

市内の経営者や起業家、今後市内で起業・創業を計画されている方、興味がある方など

5.定員

40人

6.参加費

500円（現地支払い、1ドリンク付き）

7.申込方法

右記二次元コードから10月22日（木）正午までに申込み

△申込フォーム　△イベント情報

問合せ先	小千谷市商工振興課地域産業係 担当／須田・渡辺 TEL:0258-83-3556

BALLOON
Ojiya Startup Support Program

小千谷市起業家育成支援事業BALLOON スタートアップアクセラレーション

Ojiya Meetup Day vol.4



その一歩は、
小千谷から始められる。

2026 10/22 木 18:30-21:00

定員 40名

現地のみ

場所 小千谷市ひと・まち・文化共創拠点 ホントカ。
演アンカー 新潟県小千谷市本町 1-13-35

参加費 500円 現地支払い・1ドリンク付き

Welcome!
どなたでもご参加いただけます！！

ビジコン採択者が語る、この街で挑戦することの可能性

4回目となる今回のOMDは、令和7年度ビジネスコンテスト in OJIYA 採択者が登壇する2つのクロストークをお届けします。小千谷で生きてきた視点と、東京・小千谷の2拠点で活動する視点。ふたつの視点から、この街で挑戦することの可能性を語り合います。グループワークや交流会の時間もあり、はじめての方も気軽にご参加いただける場です。

こんな方におすすめ！

小千谷市内の起業家・経営者
小千谷市内で起業予定または起業検討中の方
小千谷市内での起業に興味のある方
小千谷の起業家育成支援に興味のある市内外の方々

スケジュール

18:00	受付開始
18:30	オープニング
18:40	アイスブレイク・グループワーク 「小千谷のポテンシャル」
18:55	クロストーク① 「小千谷で挑戦をするとは」
19:35	休憩
19:45	クロストーク② 「外からみた小千谷のポテンシャル」
20:25	交流会
20:55	写真撮影・クロージング

クロストーク①登壇者



令和7年度 ビジコン採択者
安達 崚真
地元野菜の魅力発信に向けた実証実験



令和7年度 ビジコン採択者
黒崎 諒
おぢや日和 ～感動体験の旅～



令和7年度 ビジコン採択者
堀澤 由枝
小千谷産米と酒種酵母を活かした米パンの製造・販売事業

クロストーク②登壇者



令和7年度 ビジコン採択者
五十嵐 友樹
「使う工芸」としての小千谷縮海外展開モデル創出事業



令和7年度 ビジコン採択者
風間 健人
AI自動運転除雪システムおよびSnow Tech実証による豪雪地向けフィジカルAI事業



ゲストスピーカー
星出 智美
小千谷市地域おこし協力隊

参加者限定！今年度ビジコン情報、先行解禁！

お申込みはこちらから ▶

お問い合わせ balloon@ojiya-startup.com BALLOON事務局（Socialups株式会社）
主催：小千谷市　運営：Socialups株式会社、株式会社テレビ新潟放送網

※本イベントは、アーカイブ動画を含む配信は予定しておりません。

10月　市内行事等日程表

※【時】時間【場】会場【対】対象【定】定員【他】その他【問】問い合せ先
※本情報は主に「広報おぢや」お知らせ欄から一部の行事を紹介したものです。
※やむを得ない事情により、内容を変更する場合があります。

▶ 詳細は市ホームページでご確認ください

◇市内の主な行事予定

月日		内　容	料金・申込
10月	3日（土）	**ハートフルフェスタ2026** 【時】午前10時～午後3時【場】ホントカ。（本町1-13-35） 【問】ハートフルフェスタinおぢや実行委員会（実行委員長：森本） ℡090-2244-0918	無料 申込不要
		心の健康セミナー「天井の音楽～ハート・ケアコンサート～」 （8月報道資料参照）	無料
	4日（日）	**みんなで卓球しよう！** **①合同卓球交流会 ②はじめての地域卓球体験会** 【時】①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時30分 【場】ソコラテ（稗生丙299-1）【対】①中学生 ②小学5・6年生（経験者は①にも参加可） 【問】ソコラテ　℡0258-94-5460	500円 要申込
		ホントカ。市 【時】午前10時～午後4時【場】ホントカ。（本町1-13-35） 【問】ホントカ。　℡0258-82-2724	ー
		牛の角突き10月場所 【時】正午～午後3時【場】小千谷闘牛場（小栗山2453） 【問】小千谷闘牛振興協議会　℡0258-59-2003	2,000円 中学生以下は無料
	10日（土） 17日（土） 18日（日）	**演劇ワークショップ** 【時】午後1時30分～4時【場】市民会館（土川1-3-3）【定】各日15人 【問】市民会館　℡0258-82-9111	無料 要申込
	11日（日）	**市民芸能まつり** 【時】午前10時～午後4時【場】市民会館大ホール（土川1-3-3） 【問】市民会館　℡0258-82-9111	無料
	12日（祝）	**秋のウォークイベントハッケン。ボウケン。オヂヤ パシャ** （8月報道資料参照）	大人：600円 小・中学生：400円 未就学児：無料 要申込
	17日（土）	**2026人権×男女共同参画講演会「SNS・ネットトラブルから私たちの人生を守るために」** 【時】午後1時30分～午後3時【場】サンプラザ大ホール（城内1-8-25） 【定】150人【他】入場整理券配布場所：市民生活課、片貝総合センター、市民会館、総合体育館、ホントカ。ソコラテ、あすえ～る 【問】市民生活課市民係　℡0258-83-3509	無料 要申込 ※入場には整理券が必要
		小千谷市地区別防災訓練（山辺地区） 【時】午前8時30分～11時30分【場】ソコラテ（稗生丙299-1） 【問】防災安全課　℡0258-83-3515	ー
	22日（木）	**起業家育成支援事業「BALLOON」Ojiya Meetup Day vol.4** （報道資料参照）	500円 要申込

10月	23日（金）	**10.23「中越大震災の日」　－市内の主な関連行事－** **●お昼頃：「中越大震災の日」給食（報道資料参照）** 【問】教育・保育課　℡0258-83-3519 **●午後1時35分：おぢや防災塾～Remember10.23～（報道資料参照）** 【問】教育・保育課　℡0258-83-3519 **●午後5時：10.23「中越大震災の日」追悼のつどい（報道資料参照）** 【問】10.23「中越大震災の日」追悼のつどい実行委員会 ℡0258-94-5460 **●午後5時30分：塩谷慰霊の集い（黙とうほか）** 【場】塩谷地内慰霊碑（塩谷137付近）【主催】塩谷町内会	ー
	24日（土）	**みんなでレトロテレビゲーム！** 【時】午前10時～11時【場】ソコラテ（稗生丙299-1）【定】15人 【問】ソコラテ　℡0258-94-5460	無料 申込不要
		長岡定住自立圏スポーツ振興事業　健康こいこいウォーキング 【時】午前9時30分～正午【場】小千谷市立総合支援学校駐車場 【対】小学生以上（小学生以下は保護者同伴）【定】30人 【問】NPO法人こいこいスポーツクラブおぢや（総合体育館内）℡0258-83-0085	1,000円 要申込
		小千谷市原子力防災訓練（一部地区避難：西小千谷地区・城川地区） 【時】午前8時30分～午後1時【場】小千谷小学校（土川1-5-52） 【問】防災安全課　℡0258-83-3515	ー
	25日（日）	**小千谷陸上競技チャレンジ2026** 【時】午前9時～【場】白山運動公園陸上競技場（山谷2234） 【問】総合体育館　℡0258-83-0077	500円 要申込
		認知症捜索模擬訓練 【時】午前9時30分～11時45分【場】山谷交流センター（山谷1313-2） 【問】福祉課高齢福祉係　℡0258-833517	参加無料 要申込
	26日（月）	**家族のための学習会「双極性障害について」** 【時】午前9時30分～11時【場】芽咲庵（上ノ山1-2-15） 【問】健康・子育て応援課　℡0258-83-3640	無料 申込不要
	31日（土）	**赤十字幼児安全法短期講習会** 【時】午後1時～4時【場】サンラック小千谷2階大集会室（桜町5140） 【定】20人 【問】日本赤十字社小千谷事務局（福祉課）　℡0258-83-3517	無料 要申込